

VideoStudio® SE

ユーザーガイド
Ulead Systems, Inc.
2006年3月

Ulead® VideoStudio® SE 日本語版初版 2006 年 5 月

© 1992-2006 Ulead Systems, Inc.

不許複製。本書の一部またはすべてを Ulead Systems, Inc の文書による許可なく、 photocopy、記録、復元システムへの保存を含め、電子的または機械的方法により再生または転送したり、いかなる形態によっても他の言語に翻訳したりすることは禁止されています。

ソフトウェアライセンス

本マニュアルに説明するソフトウェアは、本製品に添付されているライセンス契約に基づいて提供されています。このライセンス契約は、本製品に関して許可される使用および禁止される使用について規定しています。

ライセンスおよび商標

ICI Library © 1991-1992 C-Cube Microsystems.

不許複製。Ulead および Ulead Systems ロゴは Ulead Systems 社の登録商標であり、Ulead VideoStudio は同社の商標です。Intel, Pentium, MMX は Intel 社の商標および登録商標です。Microsoft, Windows, DirectX、その他本書に記載される Microsoft 製品は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。Adobe, Adobe ロゴおよび Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標です。QuickTime および QuickTime ロゴはライセンスのもとに使用される商標です。QuickTime は米国およびその他の国で登録されています。本書に記載されるその他すべての製品名、登録商標および未登録商標は識別のみを目的としており、その所有権は各社にあります。

サンプルファイル

プログラム CD-ROM にサンプルとして格納されているファイルは、個人的な展示、製作、および発表に使用することができます。これらのサンプルファイルを商業的に複製または再配布する権利は付与されません。

南北アメリカ

Ulead Systems Inc.

<http://www.ulead.co.jp>

サポート : <http://www.ulead.com/tech>

日本

Ulead Systems Inc.

<http://www.ulead.co.jp>

サポート : <http://www.ulead.co.jp/tech>

ドイツ

Ulead Systems GmbH

<http://www.ulead.de>

サポート : <http://www.ulead.de/tech>

フランス

<http://www.ulead.fr>

サポート : <http://www.ulead.fr/tech>

国際本部

Ulead Systems, Inc.

<http://www.ulead.co.jp>

<http://www.ulead.com.tw>

サポート :

<http://www.ulead.com/tech>

<http://www.ulead.com.tw/tech>

中国

Ulead Systems, Inc.

<http://www.ulead.com.cn>

サポート : <http://www.ulead.com.cn/tech>

イギリス

<http://www.ulead.co.uk>

サポート : <http://www.ulead.co.uk/tech>

はじめましょう	5
おまかせモード	5
ステップ1: ビデオとイメージの追加	5
ステップ2: テンプレートの選択	6
ステップ3: 完了	7
VideoStudio10	7
ユーザーインターフェース	8
ツールバー	8
プロジェクトタイムライン	8
新しいムービープロジェクトの開始	9
環境設定	9
プロジェクトのプロパティの設定	10
クリップの追加	10
プレビュー	10
プロジェクトの保存	10
キャプチャ	11
デジタルビデオ (DV)	12
DV テープをスキャン	12
DVD/DVD-VR からインポート	12
編集	14
ビデオトラックにクリップを追加する	14
ビデオクリップ	14
イメージ	14
カラークリップ	14
クリップのトリミング	15
トリムしたクリップを保存	16
リップル編集	16
チャプタポイントバーを使ってチャプタを追加する	17
複数のファイルを変換する	17
再生速度	18
シーンで分割	18
ビデオの複数カット	19
ビデオフィルタの適用	21
キーフレーム設定	22
パン & ズーム	23
効果	25
トランジションの追加	25
オーバーレイ	27
オーバーレイトラックにクリップを追加する	27
オブジェクトやフレームの追加	31
フラッシュアニメーションの追加	32
タイトル	33
テキストの追加	33
テキストの属性を変更する	36
アニメーションの適用	37

オーディオ	38
ナレーションを追加する	38
BGMの追加	39
音楽 CD からのインポート	39
オーディオファイルの追加	40
オーディオクリップのトリムと切り取り	40
オーディオの長さを引き伸ばす	41
フェードイン/アウト	42
オーディオトラックのミキシング	42
クリップのボリュームコントロールの使い方	42
オーディオチャネルの複製	43
ボリューム調整	43
オーディオフィルタの追加	44
完了	45
ムービーテンプレートの作成	45
ビデオファイルの作成と保存	46
DVD、VCD、SVCD の書き込み	48
ファイルの構成	49
チャプタの追加 / 編集	51
選択メニューの作成	52
プレビュー	54
プロジェクトをディスクに書き込む	55
プロジェクトを再生	57
ムービーの出力	59
ビデオファイルを別のメディアに出力	59
ビデオを Web ページに掲載する	60
ムービーを E メールで送信	61
電子グリーティングカード	62
ビデオをスクリーンセーバーとして設定する	63
オーディオファイルの作成	63
DV カメラへの録画	64
索引	65

はじめましょう

VideoStudio を起動すると、まず開始画面が表示されます。ここでは、次のビデオ編集モードからモードを選択することができます。

- **VideoStudio10**には VideoStudio の全編集機能が揃っています。
- **おまかせモード**はビデオ編集に初めて挑戦する方に適しています。

ヒント：プロジェクトをワイドスクリーンにしたい場合は、[16:9] を選択してください。

おまかせモード

初めてビデオ編集を行う方や、すばやくムービーを作成したい方は、**おまかせモード**を利用してビデオクリップやイメージを組み合わせたり、BGM やタイトルを追加したりした後、最終ムービーをビデオファイルとして出力したり、ディスクに書き込むことができます。また、VideoStudio Editor でムービーの編集を続けることも可能です。

ステップ1：ビデオとイメージの追加

1. 次のボタンのうちのいずれかをクリックして、ビデオとイメージをムービーに追加します。

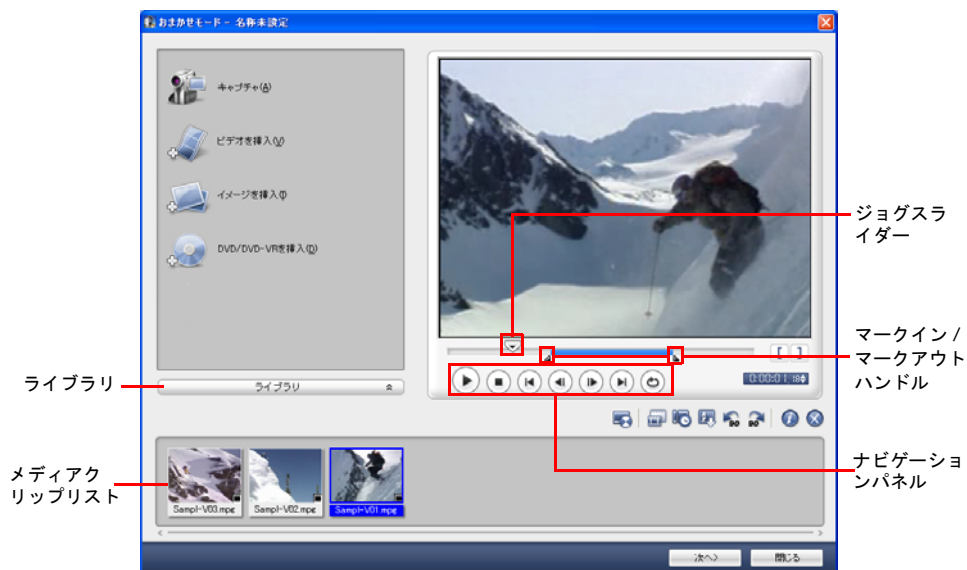
ヒント：[ライブラリ] をクリックすると、VideoStudio に付いているメディアクリップが保管されているメディアライブラリを開くことができます。オリジナルビデオやイメージファイルをこのライブラリにインポートするには、 をクリックしてください。

2. 複数のクリップを選択した場合は、[挿入するクリップの確認と並べ替え] のダイアログボックスが開きます。ここでは、クリップの順番を並べ変えることができます。


クリップを任意のシーケンスにドラッグして、[OK] をクリックします。

3. ムービーに使用するために選択したビデオやイメージクリップは、**メディアクリップリスト**に追加されます。クリップを右クリックすると、その他のオプションを選択できるメニューが開きます。

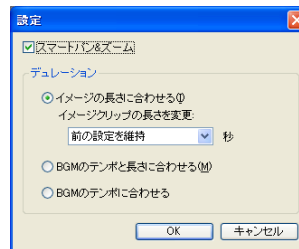
ヒント：メディアクリップリストでクリップをドラッグすることによって、順番を並べ替えることもできます。




ステップ 2： テンプレートの選択

1. テーマテンプレートリスト からテーマテンプレートを選択します。ホームムービーテンプレートは、ビデオとイメージが含まれたムービーを作成するときに選択します。またスライドショーテンプレートは、イメージスライドショーを作成するときに選択します。
2. ムービーの全体の長さを調整するには、 をクリックします。

スライドショーテンプレートを使用する場合は、[設定] のダイアログボックスで [スマートパン & ズーム] を指定します。スマートパン & ズーム機能は、人物の顔などのような重要な部分を自動的にフォーカスします。



3. タイトルを置き換えるには、まず**タイトルリスト**から**プリセットタイトル**を選択します。**プレビューウィンドウ**で**プリセットテキスト**をダブルクリックし、次に**テキスト**を入力します。
4. BGM を変更するには、 をクリックして**オーディオオプションウィンドウ**を開きます。スライダーを左にドラッグすると BGM の音量が上がり、ビデオの音量が下がります。
5. **[次へ]** をクリックしてください。

メモ : VideoStudio10 でおまかせモードを開いた場合は、**次へ**をクリックすると最後のステップを省略して直接クリップが VideoStudio10 のタイムラインに挿入されます。

ステップ 3 : 完了



[ビデオファイルを作成] をクリックして、ムービーをコンピュータで再生できるようにビデオファイルとして出力します。



[ディスクを作成] をクリックしてムービーをディスクに書き込みます。

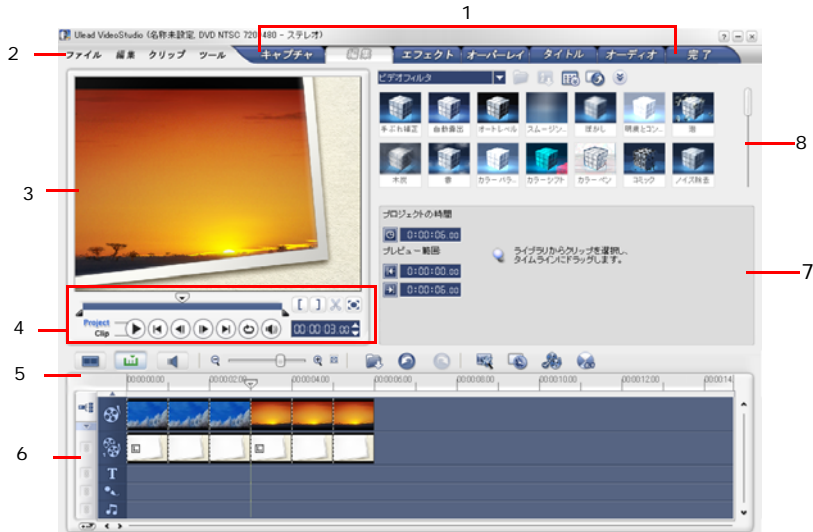


[VideoStudio10 で編集] をクリックして、VideoStudio10 でムービーを編集します。

VideoStudio10

VideoStudio10 ではムービーをすばやく、簡単に作成できるようにステップバイステップで作業を行います。

ユーザーインターフェース



1 ステップパネル
3 プレビューウィンドウ
5 ツールバー
6 プロジェクトタイムライン

2 メニューバー
4 ナビゲーションパネル
7 オプションパネル
8 ライブラリ

メモ：ユーザーインターフェースのレイアウトを変更するには、[環境設定] → [UI レイアウト] を選択してください。

ツールバー


ツールバーには編集用のボタンが用意されています。

プロジェクトタイムライン

プロジェクトタイムラインを表示するには、ストーリーボードビュー、タイムラインビュー、オーディオビューの3種類があります。ツールバーの左側にあるボタンをクリックすると、それぞれのビューを切り替えることができます。

ストーリーボードビュー

[ストーリーボードビュー] はムービーにビデオクリップを追加する一番速くて簡単な方法です。

ビデオクリップはドラッグ & ドロップで挿入したり、調整したりすることができます。トランジション効果はビデオのクリップとクリップの間に挿入することができます。選択したビデオクリップは、**プレビューウィンドウ**でトリムすることができます。[ 拡大] をクリックすると、ストーリーボード表示を最大化することができます。

タイムラインビュー

タイムラインビューでは、ムービープロジェクトのエLEMENTをより分かりやすく表示します。ここではプロジェクトをビデオ、オーバーレイ、タイトル、ボイス、ミュージックなどの個別のトラックに分割します。

他のトラックに切り換えるには：

- ステップパネルでトラックに相当する**ステップボタン**をクリックします。
- **トラックボタン**をクリックします。
- 任意のトラックをダブルクリックするか、トラック上でクリップをクリックします。

オーディオビュー

オーディオビューではビデオ、音声、音楽クリップの音量レベルを視覚的に調整することができます。オーディオが含まれるクリップは、クリックアンドドラッグにより音量を調整するための**ボリューム調整**も一緒に表示されます。

新しいムービープロジェクトの開始

VideoStudio を実行すると、自動的に新しいプロジェクトが設定され、ムービー製作を始めることができるようになっています。新しいプロジェクトは、常に VideoStudio のデフォルト設定が使用されます。設定を確認するには、[ファイル] - [プロジェクトのプロパティ] をご覧ください。

環境設定


プログラムの作業環境を [環境設定] のダイアログボックスでカスタマイズすることができます。ファイルを保存するための作業フォルダを指定したり、元に戻すレベルを設定したり、プログラムの動作を設定したりすることができます。[環境設定] のダイアログボックスを開くには、[ファイル] - [環境設定 [F6]] を選択します。

プロジェクトのプロパティの設定

プロジェクトのプロパティはムービープロジェクトをプレビューするためのテンプレートの役割を果たします。[プロジェクトのプロパティ] のダイアログボックスで行ったプロジェクト設定は、プロジェクトを画面上でプレビューするときの現れ方と品質を決定します。プロジェクト設定をカスタマイズするには、[ファイル] - [プロジェクトのプロパティ] を選択します。

クリップの追加

プロジェクトにクリップを追加するには、3通りの方法があります。

- ビデオソースからビデオクリップをキャプチャする ビデオクリップは**ビデオトラック**に挿入されます。
- **ライブラリ**から適切なトラックにクリップをドラッグします。
-  をクリックして、メディアファイルを別のトラックに直接挿入します。

プレビュー

ナビゲーションパネルの[再生] ボタンには、プロジェクト全体の再生と、選択されたクリップの再生の2つの機能があります。再生するには、[プロジェクト] か [クリップ] をクリックして、[再生] をクリックします。



VideoStudio は、[インスタント再生] と [高画質再生] の2つのプレビューオプションを提供しています。[ファイル] - [環境設定] - [全般] を選択し、[再生方式] で気に入ったプレビュー方式を選択します。

プロジェクトの保存

ムービープロジェクトを構成するときには、[ファイル] - [保存] [Ctrl + S] を選択して、プロジェクトを頻繁に保存するよう設定します。自動的に作業内容を保存するには、[ファイル] - [環境設定] を選択した後で [プロジェクトを自動的に保存する間隔] を選択し、保存行う間隔を指定します。

キャプチャ

ビデオをキャプチャする手順はいずれのタイプのビデオソースでも大体同じですが、**ビデオをキャプチャのオプションパネル**で使用可能なキャプチャ設定は異なります。

ビデオのキャプチャ：

1. **【キャプチャステップ】** をクリックし、次に **【ビデオをキャプチャ】** をクリックします。
2. キャプチャする長さを指定するには、**オプションパネルの【デュレーション】** ボックスに長さを入力します。
3. **ソースリスト** からキャプチャデバイスを選択します。
4. キャプチャしたビデオを保存するためのフォーマットを**キャプチャ形式**リストから選択します。
5. ビデオファイルを保存するための**保存先**を指定します。
6. **【オプション】** をクリックして、他のキャプチャ設定をカスタマイズするためのメニューを開きます。
7. ビデオを見ながらキャプチャしたい場所を検索してください。
8. キャプチャしたい部分が表示されたら、**【ビデオをキャプチャ】** をクリックするとキャプチャが開始されます。
9. キャプチャの長さを指定してある場合は、キャプチャが完了するのを待ってください。**【キャプチャを停止】** をクリックするか、**【Esc】** を押してキャプチャを停止します。

メモ：

- ビデオカメラが録画モードになっているときには（通常 **CAMERA** または **MOVIE** と表示されるはずですが）、ライブビデオをキャプチャできます。
- **【ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定】** のダイアログボックスで有効な設定は、選択したキャプチャファイル形式によって異なります。

デジタルビデオ (DV)

デジタルビデオ (DV) をネイティブフォーマットでキャプチャするには、オプションパネルのフォーマットリストから **DV** を選択します。この場合、キャプチャしたビデオは DV AVI ファイル (.AVI) として保存されます。

メモ : DV ビデオをキャプチャするには、**[DV テープをスキャン]** オプションを使用することもできます。

DV AVI タイプ -1 とタイプ -2

DV をキャプチャするときには、**オプションパネル**で**オプション**をクリックしてメニューを開き、**DV タイプ**を選択して、DV を **DV タイプ -1** か **DV タイプ -2** のどちらでキャプチャするかを選択します。

シーンで分割

1 本の DV テープに異なる時間に撮影されデータと一緒に収録されている場合があります。VideoStudio ではセグメントを 1 個ずつキャプチャし、個々のファイルとして保存する必要はありません。シーンで分割機能を利用すると、これらの作業を自動的に行ってくれます。

キャプチャステップでシーンで分割オプションを使うには :

1. オプションパネルで **[シーンで分割]** オプションを選択します。
2. **[キャプチャを開始]** をクリックしてください。VideoStudio は撮影日時に基づき自動的にシーンを検出し、別々のファイルにキャプチャします。

DV テープをスキャン

このオプションはインポートしたいシーンを探すために、DV デバイスをスキャンするときを選択します。

DVD/DVD-VR からインポート

VideoStudio には、DVD/DVD-VR フォーマットのビデオをディスクやハードディスクからインポートすることができます。

DVD/DVD-VR からインポートするには：

1. **キャプチャステップ**をクリックした後、**[DVD/DVD-VR からインポート]** をクリックします。
2. DVD ドライブを選択し、**[DVD フォルダをインポート]** をクリックします。
3. **フォルダ参照ウィンドウ**で DVD フォルダの場所を指定し、**[OK]** をクリックします。
4. **DVD をインポート**ウィンドウの **[ラベル]** で、インポートする DVD のトラックを選択します。インポートするために選択したトラックを確認するには、プレビュースクリーンを使用してください。
5. **[インポート]** をクリックすると完了です。インポートしたビデオはすべて、**ライブラリ** のサムネイルリストに追加されます。

編集


編集ステップではプロジェクトで使われるビデオクリップを配置、編集、トリムすることができます。

ビデオトラックにクリップを追加する

編集ステップではビデオトラックでしか作業をすることができません。ビデオトラックには3種類のクリップ（ビデオクリップ、イメージクリップ、カラークリップ）を挿入することができます。

ビデオクリップ

ビデオトラックにビデオクリップを挿入するには、いくつかの方法があります。

- ・ ライブラリでクリップを選択し、ビデオトラックにドラッグ & ドロップしてください。複数のクリップを選択したい場合は、**[Shift]** または **[Ctrl]** を押しながら選択します。
- ・ ライブラリでクリップを右クリックし、**[挿入先] - [ビデオトラック]** を選択します。
- ・ Windows エクスプローラでビデオファイルを選択し、それらをビデオトラックにドラッグアンドドロップします。
- ・ ファイルフォルダから直接タイムラインにクリップを挿入する場合は、**[メディアファイルを挿入]** をクリックし、タイムラインの左にある  をクリックしてください。

イメージ

静止画はビデオクリップと同じ方法でビデオトラックに追加することができます。

カラークリップ

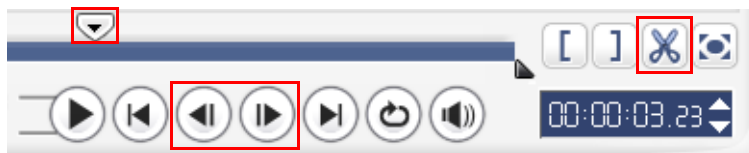
カラークリップとは色の背景を持つクリップで、タイトルに効果的に使うことができます。たとえば、クレジットの終わりの背景に黒いカラークリップを挿入します。プリセットのカラークリップを使用したり、新しくライブラリでカラークリップを作成したりすることができます。

クリップのトリミング

クリップをトリムするには、3通りの方法があります。

クリップを2つに分けるには：

1. ストーリーボードかタイムライン上で分割したいクリップを選択します。
2. クリップを分割したい点にジョグスライダーをドラッグします。



ヒント：▶ か ◀ をクリックすると、分割点をより正確に指定することができます。

3. ✂ をクリックすると、クリップが2つに分割されます。これらのクリップの1つを除去するには、不要なクリップを選択して **[Delete]** キーを押します。

トリムハンドルを使ってクリップをトリミングするには：

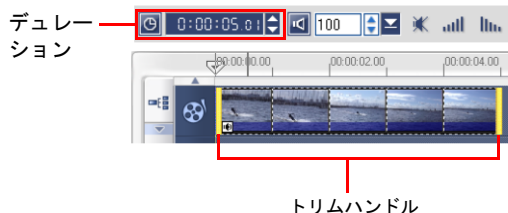
1. ストーリーボードかタイムライン上でクリップを選択します。
2. トリムハンドルをクリックアンドドラッグして、クリップ上にマークイン/マークアウトの位置を設定します。

微調整を行う場合は、トリムハンドルをクリックし、これを押したままキーボードの左右矢印キーを使ってフレームごとにトリミングを行うことができます。



タイムライン上で直接クリップをトリムする：

1. [タイムライン] でクリップをクリックして選択してください。
2. 黄色いトリムハンドルをクリップのどちらかの端にドラッグして、長さを変更します。または、オプションパネルの [デュレーション] のダイアログボックスでタイムコードをクリックし、好きなクリップの長さを入力してください。



3. プロジェクトのその他のクリップは、変更に基づきそれぞれ自動的にシフトされます。

メモ： [ビデオのデュレーション] のダイアログボックスでの変更はマークアウトのみに影響します。マークインポイントは変更されません。

トリムしたクリップを保存

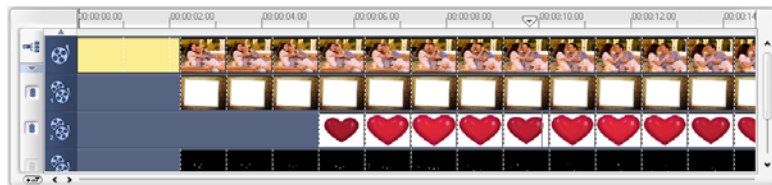
保存するには、トリムしたクリップをタイムラインかライブラリで選択し、[クリップ] - [トリムしたビデオを保存] をクリックしてください。

リップル編集

リップル編集はタイムライン上にクリップを挿入する場所を作るために、自動的に他のクリップを横に移動させます（空白のスペースも含みます）。このモードを使うと、別のクリップを挿入しながら、元のトラックとの同期を取ることができます。



リップル編集はコンテンツを挿入するトラックで実行できます。



元のクリップの前にカラークリップが挿入され、それに伴いリップル編集が適用されるすべてのクリップがシフトされます。

リップル編集モードでクリップを挿入するには：

1. [リップル編集] をクリックしてパネルを有効にした後、リップル編集を適用したいトラックの相当するボックスを選択します。
2. 挿入するクリップをライブラリからタイムライン上の任意の場所にドラッグします。新しいクリップが配置されると、リップル編集を適用したすべてのクリップがシフトします。同時にそれぞれのトラックの関連位置は維持されます。

メモ：リップル編集は、3つのプロジェクトビューのどこからでも適用できます。


チャプタポイントバーを使ってチャプタを追加する

チャプタを編集するには、編集したいチャプタポイントをクリックし、新しい位置にドラッグしてください。名前を変えるには、チャプタポイントをダブルクリックして新しい名前を指定してください。[OK] をクリックしてください。チャプタポイントを除去するには、ポイントがタイムラインルーラーの外側へドラッグアウトしてください。

複数のファイルを変換する

バッチ変換は、複数のファイルを一度の別の形式に変換する機能です。

バッチ変換を行うには：

1.  をクリックします。
2. [追加] をクリックして、変換したいファイルを選択します。
3. [フォルダに保存] で出力フォルダを選択します。

4. **【保存形式】** で任意の出力形式を選択してください。
5. **【変換】** をクリックします。
6. 変換結果は、**【タスクリポート】** のダイアログボックスに表示されます。**【OK】** をクリックすると変換が完了します。

再生速度

動きを強調するならスローモーション、ムービーにコミカルな雰囲気を加えるなら倍速以上に設定しても良いでしょう。**【編集ステップ】** で**オプションパネル**から**【再生速度】** をクリックし、ビデオクリップの速度の属性を変更してください。スライダーを引くか（遅い、普通、速い）、または希望の数値を入力してください。**タイムストレッチ**でもクリップの長さを指定できます。最後に**【OK】** をクリックしてください。

ヒント : [Shift] キーを押したまま、タイムライン上でクリップの端をドラッグすると再生速度を変更することができます。

シーンで分割

編集ステップの**【シーンで分割】** 機能を使い、ビデオファイルの異なるシーンを検出して自動的に複数のクリップファイルに分割することができます。

VideoStudio がシーンを検出する方法はビデオのタイプにより異なります。キャプチャした DV AVI ファイルでは、次の 2 つの方法でシーンを検出することができます。

- **【DV 撮影時間の検出】** はシーンを録画日時に基づいて検出します。
- **【シーン検出】** はモーションの変わり目、カメラのシフト、明度の変わり目など、コンテンツの変わり目を検出し、個々のビデオファイルに分割します。

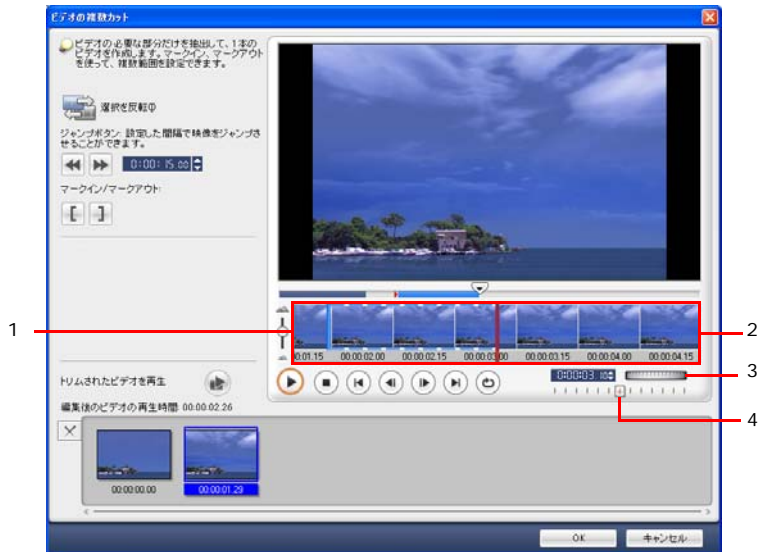
MPEG-1 または MPEG-2 ファイルについては、コンテンツの変化に基づいてのみシーンを分割（**シーン検出**など）することができます。

DV AVI または MPEG ファイルでシーンで分割機能を使うには：

1. **【編集ステップ】** へ進み、タイムラインでキャプチャした DV AVI ファイルか MPEG ファイルを選択します。
2. **オプションパネル**で **【シーンで分割】** をクリックします。すると **【シーン】** のダイアログボックスが開きます。
3. 希望のスキャン方法を選択してください (**【DV 撮影時間の検出】** または **【シーン検出】** のどちらか)。
4. **【オプション】** をクリックしてください。 **【シーンスキャンの感度】** のダイアログボックスが表示されます。ここではスライダーをドラッグして **感度** を調整します。感度が高いほど多くのシーンが検出されます。
5. **【OK】** をクリックしてください。
6. **【スキャン】** をクリックしてください。VideoStudio がビデオファイルをスキャンし、検出したシーンをすべてリストします。
7. **【OK】** をクリックしてビデオを分割します。

ビデオの複数カット

【ビデオの複数カット】 機能はクリップを複数のセグメントに分割するもうひとつの方法です。**【シーンで分割】** はプログラムにより自動的に行われますが、**【ビデオの複数カット】** 機能はユーザーによるコントロール要素が多く、プロジェクトをより管理しやすくします。



1 タイムラインズーム

上下にドラッグすることにより、ビデオクリップをフレーム / 秒の単位で分割することができます。

3 ジョグホイール

クリップの別の部分にスクロールするときを使用します。


2 ワンフレーム・マルチトリム



ビデオクリップをフレーム単位でスキャンすることにより、正確にマークインとマークアウトの位置を設定することができます。

4 シャトルスライダー

異なる再生速度でクリップをプレビューします。

1 個のビデオファイルを複数のクリップにトリムする：

1. [編集ステップ] へ進み、オプションパネルで [ビデオの複数カット] をクリックします。
2. [ビデオの複数カット] のダイアログボックスで  をクリックしてセグメントをどのようにマークするかを指定し、先にクリップ全体を見てください。
3. タイムラインズームをドラッグして、表示するフレームの数を選択します。1 フレーム / 秒で指定して表示することもできます。

4. **ジョグスライダー**をセグメントの最初のフレームとして使う場所までドラッグします。
[開始]  をクリックします。
5. 今度はセグメントの終了点に**ジョグスライダー**をドラッグします。**終了**  をクリックします。
6. ステップ4と5を繰り返して、維持または削除したいすべてのセグメントをマークします。
7. 最後に [OK] をクリックしてください。維持したビデオセグメントがタイムラインに挿入されます。

ビデオフィルタの適用

ビデオフィルタはクリップのスタイルや表示方法をアレンジするための効果です。

ビデオトラックのクリップ（ビデオやイメージ）にビデオフィルタを適用するには：

1. タイムラインでクリップを選択します。
2. **編集ステップのオプションパネル**で [属性] タブをクリックします。
3. **ライブラリのビデオフィルタフォルダ**から、クリップに適用したいビデオフィルタを選択します（サムネイルをクリックします）。
4. ビデオフィルタをビデオトラックのクリップにドラッグ & ドロップしてください。

メモ：1個のクリップに複数のフィルタを適用するには、[最後に使用したフィルタを置き換える] オプションをクリアしてください。VideoStudio では最高5種類のフィルタを1つのビデオクリップに適用することができます。

5. **オプションパネル**で [フィルタをカスタマイズ] をクリックし、ビデオフィルタの属性をカスタマイズします。使用可能なオプションは選択されたフィルタにより異なります。
6. ナビゲーターを使って適用したビデオフィルタがどのように見えるかをプレビューしましょう。

メモ：1個のクリップに複数のビデオフィルタが適用されている場合は、▲か▼をクリックするとフィルタの順番を変えることができます。ビデオフィルタの順序を変更すると、クリップの見え方も変わります。

キーフレーム設定

キーフレームは、クリップの中でビデオフィルタの属性や動きを指定することができるフレームのことです。キーフレームを加えることで、クリップの過程でビデオフィルタがどのような動きをするかを定めることができます。

クリップにキーフレームを設定するには：


1. ライブラリからタイムラインのクリップにビデオフィルタをドラッグ & ドロップしてください。
2. [フィルタをカスタマイズ] をクリックします。するとビデオフィルタのダイアログボックスが開きます。


メモ： ダイアログボックスで使用可能な設定はビデオフィルタにより異なります。

3. キーフレームコントロールでジョグスライダーをドラッグするか、または矢印を使ってビデオフィルタの属性を変更したいフレームへ移動します。



メモ： マウスホイールを使ってタイムラインコントロールにズームインまたはズームアウトすると、より正確にキーフレームを配置することができます。



4. [キーフレームを追加]  をクリックして、クリップ中のこのフレームをキ × フレームとして設定します。これでこのフレームのビデオフィルタ設定を調整することができます。

メモ： タイムラインコントロールバー上にダイヤモンド型のマーク  が表示されます。これはそのフレームがクリップのキーフレームであることを示しています。

5. ステップ 3 と 4 を繰り返して、クリップにその他のキーフレームを追加します。

6. 最後に [OK] をクリックしてください。


ヒント : VideoStudio のプレビューウィンドウや、TV モニタや DV カムコーダなどの外付け装置を使うと、ビデオフィルタをクリップに適用した状態をプレビューすることができます。

 をクリックし、次に  をクリックすると【プレビュー再生オプション】のダイアログボックスが開きます。ここから表示するメディアを選択することができます。

パン & ズーム

パン & ズームは静止画に適用し、ビデオカメラのパン & ズーム効果をシミュレートします。イメージにこの効果を適用するには、タイムラインでイメージクリップを選択し、**パン & ズーム**を選択して**パン & ズームをカスタマイズ**をクリックします。

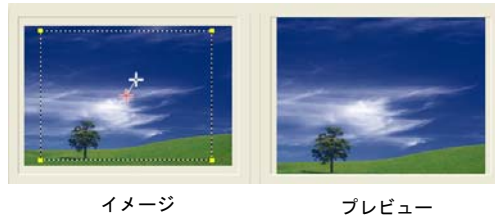
メモ : マスクイメージにパン & ズームを適用することはできません。

[**パン & ズーム**]  のダイアログボックスでは、イメージウィンドウの十字がイメージクリップのキーフレームを示します。キーフレームで設定を変更して、パン & ズーム効果を作り出します。それぞれのキーフレームをカスタマイズするときには、イメージウィンドウを使ってエリアにフォーカスしたり、イメージにパンしたりします。ズーム効果をカスタマイズするには、[オプション] タブの設定を使います。



パン & ズームを適用する：

1. イメージウィンドウで十字で示される**開始キーフレーム**を、フォーカスしたい部分にドラッグします。




2. 被写体にズームインするには、マーカーボックスを最小化するか、**ズーム比率**を上げます。



3. **終了キーフレーム**の十字を終了させたいポイントにドラッグします。



4.  をクリックして効果をプレビューします。
5. **[OK]** をクリックすると効果がイメージに適用されます。

効果

トランジション効果を活用すると、あるシーンから次のシーンへスムーズに移行させることができます。トランジション効果はビデオトラック内のクリップとクリップの間に追加されます。また効果の属性は**オプションパネル**で修正することができます。効果的に使えば、ムービーにプロ並みのタッチを加えることができます。

トランジションの追加

ライブラリには、クロスフェードから爆発に至るまで、豊富な数のトランジションプリセットがあります。これらのプリセットは自由にプロジェクトに使用することができます。



メモ：デフォルトにより、プロジェクトには手動でトランジションを追加する必要があります。クリップとクリップの間に自動的にトランジションを追加するには、**[ファイル] → [環境設定] → [全般]**を選択し、**[既定のトランジション効果を使う]**を選択してください。このオプションを選択すると、トランジションを選択する手間を省くことができます。これは特にイメージだけのスライドショープロジェクトを作成するときに便利です。トランジションは**ライブラリ**からランダムに選択され、イメージとイメージの間に自動的に挿入されます。

トランジションを追加するには：

1. **エフェクトステップ**をクリックし、**フォルダリスト**からトランジションのカテゴリーを選択します。
2. **ライブラリ**で効果のサムネイルをスクロールしてください。次に、タイムラインの2つのビデオクリップの間に希望の効果をドラッグします。ここで効果をドロップすると、効果は2つのクリップの間に収まります。1度に1つの効果のみ操作することができます。

ヒント：ライブラリでトランジションをダブルクリックすると、そのトランジションが2本のクリップの間にある最初の空白のトランジションスロットに自動的に挿入されます。この手順を繰り返すと、次の空白のトランジションスロットにトランジションが挿入されます。

プロジェクトに適用したトランジションを変更するには、ストーリーボードかタイムライン上で置き換えたいトランジションのサムネイルに新しいトランジションを**ライブラリ**からドラッグしてください。

オーバーレイ


オーバーレイステップでは、ビデオトラック上のビデオにオーバーレイクリップを追加します。オーバーレイクリップはピクチャ・イン・ピクチャ効果を作成したり、下 1/3 にグラフィックを挿入してよりプロフェッショナルなムービーに仕上げたりすることができます。

オーバーレイトラックにクリップを追加する

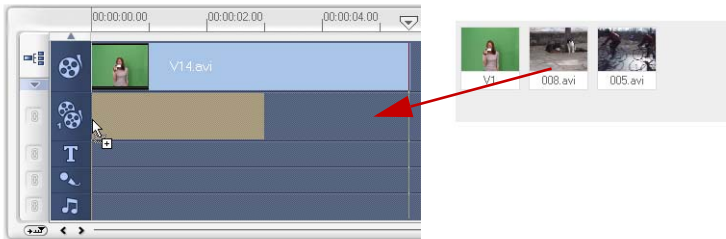
タイムライン上のオーバーレイトラックにメディアファイルをドラッグして、オーバーレイクリップとして使用します。

オーバーレイトラックにクリップを追加するには：

1. ライブラリで、プロジェクトに追加したいオーバーレイクリップが含まれるメディアフォルダを選択してください。

ヒント：ライブラリにメディアファイルを読み込むには、 をクリックします。開いたダイアログボックスでメディアファイルを探し、**[開く]** をクリックします。

2. ライブラリからタイムライン上のオーバーレイトラックにメディアファイルをドラッグします。



ヒント：

- メディアファイルを直接オーバーレイトラックに挿入するには、オーバーレイトラックを右クリックし、追加したいファイル形式を選択します。ファイルはライブラリに追加されません。
- カラークリップもオーバーレイクリップとして使用できます。

3. **[編集]** タブで有効なオプションを使って、オーバーレイクリップをカスタマイズします。

4. **【属性】** タブをクリックします。オーバーレイクリップがプリセットサイズにリサイズされ、中央に配置されます。**【属性】** タブのオプションを使うと、オーバーレイクリップにモーションを適用したり、フィルタを追加したり、クリップのサイズや位置を変えたりすることができます。

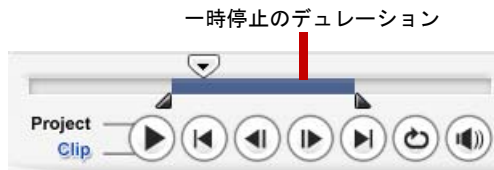
ヒント：

- 透明背景でオーバーレイクリップを作成するには、32ビットアルファチャネル AVI またはアルファチャネルのイメージファイルを作成します。これらのビデオファイルやイメージファイルは、Ulead COOL 3D Production Studio などのアニメーションプログラムや、Ulead PhotoImpact などのイメージ編集プログラムを使って作成することができます。
- あるいは、VideoStudio のマスク & クロマキー機能を使ってイメージ上の特定の色をマスクする方法もあります。

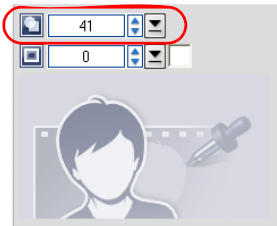
現在のオーバーレイクリップにモーションを適用するには：

【属性】 タブの **【方向/スタイル】** でオーバーレイクリップがスクリーンに現れ、消える場所を選択します。クリップが現れ、消える場所で矢印をクリックしてください。

ヒント： **【一時停止のデュレーション】** ではクリップが画面から消えるまでに特定エリアに留まっている長さを指定します。オーバーレイクリップにモーションが適用されている場合は、トリムハンドルをドラッグして**一時停止のデュレーション**を設定します。



現在のオーバーレイクリップに透明度を適用するには：



【属性】 タブで **【マスク & クロマキー】** をクリックし、**オーバーレイのオプションパネル**に入ります。**透明度** スライダーをドラッグしてオーバーレイクリップの不透明度を設定します。

現在のオーバーレイクリップにクロマキーを設定するには：

1. **【属性】** タブで **【マスク & クロマキー】** をクリックし、**オーバーレイのオプションパネル** に入ります。
2. **【オーバーレイオプションを適用】** を選択し、**【タイプ】** で **【クロマキー】** を 選択します。
3. **カラーボックス** をクリックし、**透明にする色** を選択します。




クロマキーなし

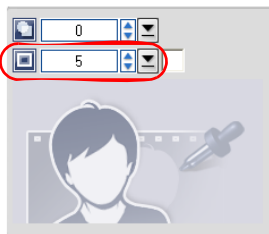


クロマキーあり

ヒント：

-  を選択し、イメージ内で透明にしたい色をクリックします。
- 近似色スライダーをドラッグすると、透明にする色域を指定できます。

現在のオーバーレイクリップに境界線を付けるには：



【属性】 タブで **【マスク & クロマキー】** をクリックし、**オーバーレイのオプションパネル**に入ります。**境界線** スライダーをドラッグしてオーバーレイクリップの境界線の幅を設定します。スライダーの横にある**カラーボックス** をクリックして境界線の色を設定します。

現在のオーバーレイクリップをリサイズするには：

[属性] タブで、**プレビューウィンドウ**に表示されているオーバーレイクリップのハンドルをドラッグしてリサイズします。隅にある黄色いハンドルをドラッグすると、縦横比を維持しながらクリップがリサイズされます。



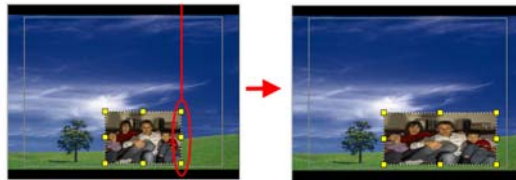
オーバーレイクリップはタイトルセーフエリア内に保つようお勧めします。

上に固定	▶
中央に固定	▶
下に固定	▶

アスペクト比を維持	
デフォルトサイズ	
元のサイズ	
画面サイズに合わせる	
歪みをリセット	

プレビューウィンドウのオーバーレイクリップを右クリックするとメニューが開きます。ここから縦横比を維持しながらオーバーレイクリップをリサイズしたり、デフォルトのサイズに戻したり、元のサイズにしたり、スクリーンいっぱいに表示されるようにリサイズしたりすることができます。

[アスペクト比を維持] オプションを選択すると、オーバーレイクリップの高さか幅のうち、どちらか長い方のサイズを基にしてリサイズされます。



メモ：オーバーレイクリップをリサイズした後、**[編集]** タブに戻ると、クリップは元のサイズに戻されたように表示されます。これは編集目的のためにこのように表示されるだけであり、オーバーレイクリップのプロパティは維持されています。

現在のオーバーレイクリップの位置を変更するには：

[属性] タブで、オーバーレイクリップを**プレビューウィンドウ**上の任意のエリアにドラッグします。

プレビューウィンドウのオーバーレイクリップを右クリックするとメニューが開きます。ここからオーバーレイクリップをビデオのプリセット位置に自動的に配置することができます。オーバーレイクリップはタイトルセーフエリア内に保つようお勧めします。

現在のオーバーレイクリップにフィルタを適用するには：

オーバーレイクリップにはビデオフィルタを適用することができます。その方法については、**[編集]** → **[ビデオフィルタの適用]** を参照してください。

異なるオーバーレイクリップに同じ属性を使用するには：

あるオーバーレイクリップの属性（サイズや位置）をムービープロジェクトの別のオーバーレイクリップに適用することができます。同じ属性を適用するには、ソースのオーバーレイクリップを右クリックして、次に**[属性をコピー]** を選択します。次にターゲットのオーバーレイクリップを右クリックして、**[属性を貼り付け]** を選択します。

オブジェクトやフレームの追加

ビデオにオーバーレイクリップとして装飾オブジェクトやフレームを追加します。

オブジェクトやフレームを追加するには：

1. ライブラリのフォルダリストから**[装飾]** - **[オブジェクト/フレーム]** を選択します。
2. オブジェクト/フレームを選択し、タイムライン上のオーバーレイトラックにドラッグします。
3. **[属性]** タブでオブジェクト/フレームのサイズや位置を変更します。



オブジェクト



フレーム

フラッシュアニメーションの追加

ビデオにフラッシュアニメーションをオーバーレイクリップとして追加すると、ビデオが生き生きとしてきます。

フラッシュアニメーションを追加するには：

1. ライブラリのフォルダリストでフラッシュアニメーションを選択します。
2. フラッシュアニメーションを選択し、タイムライン上のオーバーレイトラックにドラッグします。
3. **【属性】** タブでオブジェクト / フレームのサイズや位置を変更します。



現在のオブジェクト、フレーム、フラッシュアニメーションをカスタマイズするには：

オブジェクトやフレームをカスタマイズするには、**【編集】** タブと **【属性】** タブのオプションを使用します。アニメーションを追加したり、透明度を適用したり、オブジェクトやフレームをリサイズしたりすることができます。

タイトル

「百聞は一見にしかず」と言うように、画像は多くを語りますが、ビデオ製作中に追加する文字（字幕、オープニングやクロージングのクレジットなど）もまた作品に明確性と理解性を加えます。VideoStudioの【**タイトルステップ**】では、プロレベルのタイトルを追加し、さらに特殊効果を簡単に加えることができます。

テキストの追加

Ulead VideoStudioでは複数のテキストボックスか、1個のテキストボックスにテキストを追加することができます。複数のテキストボックスを使用すると、テキストの言葉ごとにビデオフレーム上の任意の位置に配置したり、テキストの順番を変えたりすることができます。プロジェクトのオープニングタイトルやエンディングクレジットを作成したい場合は、1個のテキストボックスを使用すると便利です。

複数のタイトルを追加するには：

1. オプションパネルで【**複数のタイトル**】を選択します。
2. 【**ナビゲーションパネル**】のボタンを使ってムービーの内容を見ながらタイトルを追加したいフレームを選択してください。
3. **プレビューウィンドウ**をダブルクリックし、テキストを入力します。

入力が終わったら、テキストボックスの外側をクリックします。別のテキストを追加するには、**プレビューウィンドウ**をもう一度ダブルクリックします。



4. ステップ 3 を繰り返して、別のテキストを追加します。

入力した複数のテキストをタイムラインに追加する前に**単一のタイトル**に切り替えると、選択したテキストか、最初に入力したテキスト（テキストボックスなしが選択されている場合）しか追加されません。他のテキストボックスは除去され、**バックドロップテキスト** オプションは無効になります。

単一のタイトルを加えるには：

1. **オプションパネル**で **【単一のタイトル】** を選択します。
2. **【ナビゲーションパネル】** のボタンを使ってムービーの内容を見ながらタイトルを追加したいフレームを選択してください。

プレビューウィンドウをダブルクリックし、テキストを入力します。



3. **オプションパネル**で **【行間】** を設定します。
4. テキストを入力し終わったら、タイムラインをクリックしてプロジェクトにテキストを追加します。

テキストはタイトルセーフエリア内に保つようお勧めします。タイトルセーフエリアとは、**プレビューウィンドウ**内の矩形のボックスのことです。タイトルセーフエリア内にテキストを維持することにより、TV 画面に表示した時に、テキストの一部が切れてしまうようなエラーを防止できます。タイトルセーフエリアの表示 / 非表示を切り替えるには、**【ファイル】** - **【環境設定】** - **【全般】** タブ - **【プレビューウィンドウにタイトルセーフエリアを表示】** を選択します。

テキストを編集するには：

- シングルタイトルの場合は、タイトルトラックでタイトルクリップを選択し、**プレビューウィンドウ**をクリックします。
- 複数のタイトルの場合は、タイトルトラックでタイトルクリップを選択し、**プレビューウィンドウ**をクリックします。次に編集したいテキストをクリックしてください。

メモ：

- タイトルクリップがタイムラインに挿入されると、ハンドルを引くか、または**オプションパネル**の【**デュレーション**】を入力して長さを調整することができます。
- ビデオクリップに挿入されたタイトルがどのように見えるかを確認するには、タイトルクリップを選択し、【**トリムしたクリップを再生**】をクリックするか、または **ジョグスライダー**を引いてください。

ヒント：フォントやスタイルなど同じ属性を共有する複数のタイトルクリップを作成する場合は、**ライブラリ**にタイトルクリップのコピーを1部保存しておくことをお勧めします（タイムラインからタイトルクリップを**ライブラリ**にドラッグアンドドロップするだけです）。このようにすると、タイトルクリップを簡単に複製し（**ライブラリ**からタイトルトラックにドラッグします）、タイトルを変更します。

プロジェクトにプリセットテキストを追加するには：

ライブラリにはプロジェクトで使用可能な多数のプリセットテキストが用意されています。これらのプリセットテキストを使用するには、**ライブラリフォルダリスト**で**タイトル**を選択し、プリセットテキストをタイトルトラックにドラッグします。

プロジェクトに字幕を挿入するには：

プロジェクトでは自分で作成したムービーの字幕ファイルを使用することができます。自分で作成した字幕ファイルを挿入するには、【**字幕ファイルを開く**】をクリックしてください。【**開く**】のダイアログボックスで使用したいファイルを探し、【**開く**】をクリックします。

テキストファイルを保存するには：


ムービー字幕を保存しておくこと、将来別の作品でも使用することができます。【**字幕ファイルを保存**】をクリックすると【**名前を付けて保存**】のダイアログボックスが開きます。ムービー字幕を保存する場所を指定し、【**保存**】をクリックします。

メモ：ムービー字幕は *.utf 形式で保存されます。

テキストの属性を変更する

オプションパネルの設定を使って、フォントタイプ、スタイル、サイズなどのテキストの属性を変更します。

その他のオプションを使用することによって、スタイルや配置を設定したり、テキストに**境界線**、**透明度**、**シャドウ**を適用したり、**バックドロップテキスト**を追加したりすることができます。

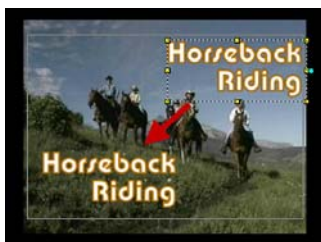
バックドロップテキストとは、ビデオフレーム上の横方向のカラーバー上にテキストを重ねるテクニックです。 をクリックすると [バックドロップテキスト] のダイアログボックスが開きます。単色またはグラデーションカラーのどちらを使用するかを選択し、バックドロップテキストの透明度を設定します。



複数のタイトルの順番を並べ替えるには：

プレビューウィンドウで並べ替えたいテキストボックスをクリックします。テキストボックスを選択した後、右クリックして、テキストを並べ替える方法を選択します。

マルチタイトルクリップ内のテキストの位置を変更するには：




テキストボックスを任意の位置にドラッグします。

アニメーションの適用

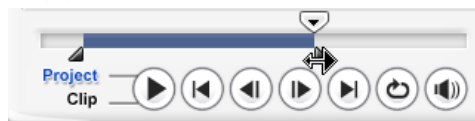
フェード、移動パス、ドロップなどの VideoStudio のテキストアニメーションツールを活用すると、テキストを動画化させることができます。

現在のテキストにアニメーションを適用するには：

1. [アニメーション] タブで [アニメーションを適用] を選択します。
2. [タイプ] で使用するアニメーションのカテゴリを選択します。
3. [タイプ] の下のボックスからプリセットアニメーションを選択します。

ヒント：  をクリックすると、アニメーションの属性を設定するためのダイアログボックスが開きます。

4. 一時停止のデュレーションハンドルを引き、テキストがスクリーンに現れてから、消えるまでの長さを指定します。



オーディオ

サウンドはビデオプロジェクトを成功させるためのカギとも言える要素です。VideoStudioのオーディオステップで、プロジェクトにナレーションや音楽を追加してみましょう。

[オーディオステップ] は [ボイス] と [ミュージック] の2つのトラックから成り立ちます。ナレーションを [ボイストラック] に挿入し、BGM や音響などを [ミュージックトラック] に追加します。

ナレーションを追加する

ドキュメンタリーやニュースにはナレーションを追加してビデオの内容を分かりやすく伝えることも重要です。VideoStudio では簡単にオリジナルのナレーションを録音することができます。

ナレーションを追加するには：

1. [オーディオ] タブをクリックします。
2. ジョグスライダーでナレーションを挿入したいビデオの部分まで移動します。

メモ： 既存のクリップの上に録音することはできません。クリップを選択すると録音機能は無効となります。タイムラインでクリップが選択されていない状態で録音を行ってください。

3. [録音] をクリックしてください。[ボリュームを調節] のダイアログボックスが表示されます。
4. マイクに向かって話し、メーターが正しく反応するかどうかを確認してください。
Windows オーディオミキサーを使い、マイク音量を調整します。
5. [開始] をクリックして、マイクروفオンに向かって話し始めてください。
6. 録音を終了するには、[Esc] キーを押すか、[中止] をクリックします

ヒント： ナレーションを録音する場合は、1セッションを10秒から15秒程度にすることをオススメします。細かく録音することで、録音に失敗した部分を簡単に除去し、やり直すことができます。ナレーションを除去するには、タイムライン上でクリップを選択し [Delete] キーを押します。

BGM の追加

BGM の効果でムービーに雰囲気を加えてみましょう。VideoStudio では、CD から WAV ファイルへサウンドトラックを録音と変換し、タイムラインに挿入することができます。

VideoStudio では WMA、WMA、その他のオーディオファイル形式にも対応しており、直接ミュージックトラックに挿入することができます。

音楽 CD からのインポート

ミュージックは音楽 CD からインポートすることができます。VideoStudio が CDA オーディオファイルをコピーし、それをハードディスクに WAV ファイルとして保存します。

音楽 CD からミュージックをインポートするには：

1. [オーディオ] タブで [音楽 CD からインポート] をクリックすると、[オーディオトラックを取り込み] のダイアログボックスが開きます。ディスクが検出されたかどうかを確認するには、**オーディオドライブ**が有効になっていることを確認することによって知ることができます。
2. **トラックリスト**でインポートしたいトラックを選択します。
3. [参照] をクリックして、インポートしたファイルを保管しておくフォルダを選択します。
4. [取り込み] をクリックすると、オーディオトラックのインポートが開始されます。


サードパーティのミュージックを追加するには：

1. [オートミュージック] タブをクリックします。
2. [スコープ] で、プログラムにミュージックファイルを検索させる方法を指定します。
3. ミュージックをインポートするために**ライブラリ**を選択します。
4. [ミュージック] から使用したいミュージックを選択します。
5. 選択したミュージックの**バリエーション**を選択します。[選択したミュージックを再生] をクリックして、バリエーションを適用した状態でミュージックを再生します。
6. **ボリュームレベル**を設定し、[タイムラインに追加] をクリックします。


ヒント： [自動トリム] を選択すると、ジョグスライダーがある位置の空白のスペースに合わせて、オーディオクリップが自動的にトリムされます。

オーディオファイルの追加

VideoStudio では [ボイストラック] と [ミュージックトラック] を別々に提供していますが、音声ファイルと音楽ファイルはどちらのトラックにも互いに挿入することができます。

オーディオを挿入するには、 をクリックして [オーディオを挿入] を選択します。オーディオファイルを挿入するトラックを選択します。

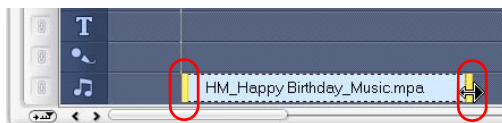
ヒント：オーディオビューをクリックするとオーディオクリップを編集しやすくなります。

VideoStudio CD には、オーディオクリップとしてすぐに使える素材も含まれています。[オーディオを開く]  をクリックし、オーディオクリップをライブラリに保存しておきましょう。

オーディオクリップのトリムと切り取り

録音済みの音声や音楽は、タイムラインで簡単にトリミングすることができます。オーディオクリップをトリムする方法は 2 つあります。

- タイムラインのオーディオクリップには 2 つの黄色いハンドルがついています。これをトリミングに使用します。オーディオクリップの最初か最後から、ハンドルをドラッグしてクリップを短くします。



- トリムハンドルをドラッグします。



ヒント：トリムハンドルを使ってライブラリのクリップをトリムすることもできます。

トリムとは別に、オーディオクリップを切り取ることも可能です。切り取りたい場所にジョグスライダーをドラッグして、**[ジョグスライダーの位置に合わせてクリップをカット]** をクリックしてください。このようにすると、クリップの超過部分を削除することができます。



ヒント：クリップのトリムした部分を再生するには、**[トリムしたクリップを再生]** をクリックします。

メモ：VideoStudioには**[自動トリム]**機能が搭載されています。タイムラインにある2つの既存のクリップの間にオーディオクリップを挿入すると、使用可能なスペースに合わせてオーディオは自動的にトリミングされます。

オーディオの長さを引き伸ばす

タイムストレッチ機能はオーディオクリップのピッチを崩さずに、オーディオクリップを引き伸ばします。通常プロジェクトに合わせてオーディオクリップを引き伸ばすと、サウンドに影響を与えます。しかし、タイムストレッチ機能はオーディオクリップをスローテンポで再生したように作り変えます。

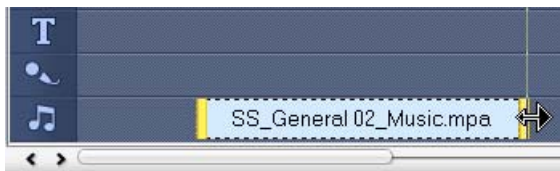
メモ：オーディオクリップを50-150%に引き伸ばした場合は、サウンドはそれほど影響を受けません。ただし、それ以上またはそれ以下の範囲で引き伸ばすと、サウンドに影響が出ます。

オーディオクリップの長さを引き伸ばすには：



1. オプションパネルで**[オーディオ]** タブをクリックします。
2. **[再生速度]** をクリックすると、**[再生速度]** のダイアログボックスが開きます。
3. **[速度]** に値を入力するか、スライダーをドラッグしてオーディオクリップの速度を変更してください。速度を遅くするとクリップの長さが長くなり、速くすると短くなります。

ヒント:

- **[タイムストレッチのデュレーション]** でクリップを再生する長さを指定することができます。クリップの速さは指定した長さに応じて自動的に調整されます。時間を短くしても、クリップはトリムされません。
- **[Shift]** キーを押しながら選択したクリップ上の黄色いハンドルをドラッグすると、タイムラインでオーディオクリップの長さを引き伸ばすことができます。



フェードイン/アウト

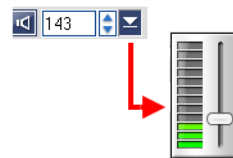
スムーズなトランジションを演出するために、徐々に音量を上げて始まり、徐々に音量を下げて終了するBGMがよく使われます。それぞれのミュージッククリップで  と  をクリックすると、クリップの開始点と終了点で音量をフェードイン、フェードアウトさせることができます。

オーディオトラックのミキシング

ナレーション、BGM、既存のオーディオをうまく調和させるには、ビデオクリップの音量調整が大切です。オーディオステップのオプションパネルかオーディオビューを使用すると、プロジェクト内の別のオーディオトラックを調和させることができます。

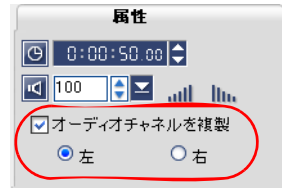
クリップのボリュームコントロールの使い方

オプションパネルでは音量調整を行うことができます。クリップのボリュームは、録音した元のボリュームに対するパーセンテージで表示されます。範囲は0から500%で、0%の場合は完全に無音、100%の場合は本来の録音音量を維持することになります。



オーディオチャンネルの複製

オーディオファイルはときどきボーカルサウンドと背景オーディオを分離し、異なるチャンネルに配置してしまう場合があります。このような場合に備えて、オーディオチャンネルを複製し、片方のチャンネルを無音にすることができます。たとえば、音声が左オーディオチャンネル、BGM が右チャンネルにあるとします。右チャンネルを複製した場合、BGM を再生したままボーカル部分を無音にします。オーディオチャンネルを複製するには、**オプションパネル**の**【属性】**タブで**【オーディオチャンネルを複製】**を選択し、複製するオーディオチャンネルを選択します。



ボリューム調整

ボリューム調整とはトラックの中央にある水平のラインのことで、**オーディオビュー**でしか表示されません。ボリュームバンドを利用すると、ビデオクリップのオーディオトラックや、**ミュージックトラック**と**ボイス**トラックのオーディオクリップの音量を調整することができます。



ボリュームコントロールを使って音量を調整するには：

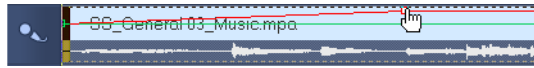
1. **【オーディオビュー】** をクリックします。
2. タイムラインで、音量を調整したいトラックをクリックします。



3. ボリュームコントロール上でポイントをクリックすると、キーフレームが追加されます。このキーフレームを基に、トラックの音量を調整します。



4. キーフレームを上下にドラッグして、そのポイントの音量を上げたり、下げたりします。



5. ステップ 3 と 4 を繰り返して、キーフレームをボリュームコントロールに追加し、音量を調整してください。

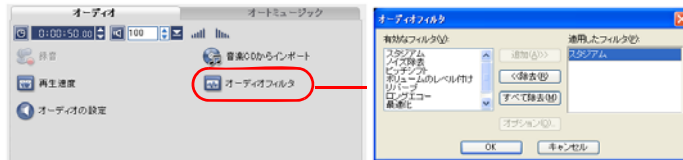
オーディオフィルタの追加

VideoStudio では、**増幅**、**ロングエコー**、**最適化**、**ピッチシフト**、**ノイズ除去**、**リバーブ**、**スタジアム**、**ポリリュームラベル**といったフィルタをミュージックトラックやボイストラックのオーディオクリップに適用することができます。オーディオフィルタは、**タイムラインビュー**でしか適用されません。

オーディオフィルタを追加するには：

1. **【タイムラインビュー】** をクリックします。
2. オーディオフィルタを適用したいオーディオクリップを選択します。
3. **オプションパネル**で **【オーディオフィルタ】** をクリックします。すると **【オーディオフィルタ】** のダイアログボックスが開きます。

【使用可能なフィルタ】 リストから、気に入ったオーディオフィルタを選択し、**【追加】** をクリックします。



メモ： **【オプション】** ボタンが有効なときには、オーディオフィルタをカスタマイズすることができます。**【オプション】** をクリックして、開いたダイアログボックスで特定のオーディオフィルタの設定を行います。

4. **【OK】** をクリックしてください。

完了

視聴者や使用目的に合わせて、プロジェクトをビデオファイル形式にレンダリングしましょう。さらに、作成されたビデオファイルを Web ページ、マルチメディアグリーティングカードとしてエクスポートしたり、E メールで友人に送信したりすることもできます。こうした操作は、すべて VideoStudio の**完了ステップ**で行います。

DVD オーサリングウィザードもこのステップに含まれます。ここではプロジェクトを直接 DVD、SVCD、VCD などに書き込むことができます。

ムービーテンプレートの作成

ムービーテンプレートには最終ムービーファイルを作成するための情報が含まれています。Ulead VideoStudio に用意されているムービーテンプレートを利用するか、**【ムービーテンプレートの作成】**で独自にテンプレートを作成しておくことにより、最終ムービーをいくつかのバリエーションで作成できます。たとえば、テープ録画や DVD 用には高画質出力用のムービーテンプレートを作成し、Web ストリーミングや E メール配布など用には低画質出力用のムービーテンプレートを使用できるようにしておきます。

ムービーテンプレートを作成するには：

1. **【ツール】** - **【ムービーテンプレートの作成】** を選択してください。すると **【ムービーテンプレートマネージャ】** のダイアログボックスが開きます。
2. **【新規作成】** をクリックします。**【新規テンプレート】** のダイアログボックスで **【ファイル形式】** を選択し、**【テンプレート名】** を入力します。**【OK】** をクリックしてください。
3. **【テンプレートオプション】** のダイアログボックスの **【全般】** タブと **【AVI/圧縮】** タブで、オプションを設定します。

メモ： これらのタブで設定可能なオプションは、テンプレートのファイルフォーマットによって異なります。

4. [OK] をクリックしてください。

メモ：

- [共有ステップ] で [ビデオファイルを作成] をクリックすると、選択メニューにムービーテンプレートが表示されます。ムービーテンプレートを使用したくない場合は、ポップアップメニューから [カスタム] を選択することができます。独自の設定で最終的なムービーを作成したり、現在のプロジェクト設定として使用することができます。
- ムービーテンプレートの設定を修正するには、[ムービーテンプレートの作成] のダイアログボックスで [編集] ボタンを押してください。

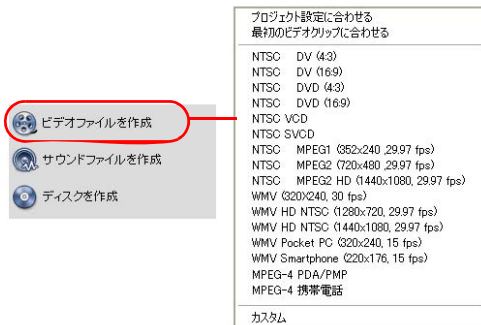
ビデオファイルの作成と保存

プロジェクト全体をムービーファイルとして出力する前に、[ファイル] - [保存]、または [名前を付けて保存] を選択して VideoStudio のプロジェクトファイル (*.VSP) として保存しておきましょう。これで、後からプロジェクトを編集することが可能となります。

ムービーファイルを作成する前にプロジェクトをプレビューするには、ナビゲーションパネルでプロジェクトモードに切り替えて、再生をクリックします。プロジェクトがどのように再生されるかは、[ファイル] - [環境設定] - [全般] タブ - [再生方式] で選択したオプションによって異なります。

プロジェクト全体のビデオファイルを作成するには：

1. オプションパネルで [ビデオファイルを作成] をクリックしてください。ムービーテンプレートの選択メニューが開きます。



- 現在のプロジェクト設定を使ってムービーファイルを作成する場合は、**【プロジェクト設定に合わせる】**を選択してください。

または、プリセットされたムービーテンプレートから選択することもできます。テンプレートを使うと、Web や DVD、SVCD、VCD への出力に適したムービーを作成することができます。

メモ：現在のプロジェクト設定を確認するには、**【ファイル】** - **【プロジェクトのプロパティ】** を選択してください。ムービーテンプレートで使用可能な出力オプションを確認するには、**【ツール】** - **【ムービーテンプレートの作成】** を選択してください。

また**【最初のビデオクリップに合わせる】**を選択すると、ビデオトラックで最初のビデオクリップの設定を使用することもできます。

- ムービーのファイル名を入力し、**【保存】**をクリックしてください。ムービーファイルは**ビデオライブラリ**に保存されます。

ヒント：

- ムービーの作成時間を省くために、ソースビデオ（キャプチャされたビデオなど）、VideoStudio プロジェクト、およびムービーテンプレートで同じ設定を使用してください。

また、プロジェクトを部分的に作成することもできます。**スマートレンダリング**機能を使うと、修正箇所が少ない場合はビデオシーケンス全体をレンダリングせずに済み、時間を節約することができます。

プレビュー範囲からビデオファイルを作成するには：

- タイムライン上部の定規をクリックし、クリップが選択されていない状態にしてください。
- トリムハンドルを使ってプレビュー範囲を選択してください。または定規に沿って三角を引っ張り、**【F3】**と**【F4】**ボタンを押して開始点と終了点を設定してください。



メモ：選択された範囲を示す赤いラインが定規上に表示されます。

3. **オプションパネル**で **【ビデオファイルを作成】** をクリックしてください。
4. **ムービーテンプレート**を選択してください。
5. **【ビデオファイルを作成】** のダイアログボックスで **【オプション】** をクリックします。[オプション] のダイアログボックスで **【プレビュー範囲】** を選択します **【OK】** をクリックしてください。
6. **ファイル名**を入力し、**【保存】** をクリックしてください。

プロジェクトを部分的に作成するもうひとつの方法は、**【Shift】** キーを押しながら **【再生】** — **【プロジェクト】** をクリックする方法です。この方法は、**【完了ステップ】** でなくても実行することができます。選択された範囲が作成され、**プレビューウィンドウ**に表示されます。この操作を実行すると、**【環境設定】** のダイアログボックスの **【プレビュー】** タブで指定したフォルダにテンポラリビデオファイルを作成します。

DVD、VCD、SVCD の書き込み

オプションパネルで **【ディスクを作成】** をクリックして、プロジェクト（他の VideoStudio プロジェクトやビデオも一緒に）を出力して DVD、VCD、SVCD を作成します。

【ディスクを作成】 のダイアログボックスで、まず出力フォーマットを選択します。次に他のプロジェクトやビデオを追加するかどうかを決定します。詳しくは次のセクションをご覧ください。

メモ：

- VideoStudio プロジェクト全体をあらかじめ .VSP ファイルとして保存していなくても、**【ディスクを作成】** のダイアログボックスに取り込み、ディスクに書き込むことができます。
- ビデオは正しいアスペクト比に調整され（ディスクテンプレートマネージャボックスで指定されたとおり）アスペクト比に合うよう自動的にレターボックスまたは円柱ボックスになります。



ファイルの構成

最終ムービーに含めたいビデオや VideoStudio プロジェクトファイル (VSP) をインポートします。

ビデオを追加するには：

1. **[ビデオファイルを追加]** をクリックします。ビデオが保存されているフォルダを開き、追加したい1つ、または複数のビデオクリップを選択します。



2. [開く] をクリックします。

メモ：

- AVI、QuickTime、MPEG ファイルなどのビデオ形式を追加することができます。また、VCD ビデオ (DAT) ファイルも追加することができます。
- **メディアクリップリスト**にビデオクリップを追加した後、黒いサムネイルが表示されることがあります。これは、このビデオクリップの最初のシーン (フレーム) が黒いためです。これを変更するには、このビデオクリップをダブルクリックして選択し、**ジョグスライダー**をシーンに移動させます。次にサムネイルを右クリックして、**[サムネイルを変更]** を選択します。

VideoStudio プロジェクトを追加するには：

1. [VideoStudio プロジェクトを追加] をクリックします。

プロジェクトがあるフォルダを開き、追加したい1つまたは複数のビデオプロジェクトを選択します。



2. [開く] をクリックします。

ジョグスライダー、**マークイン/アウト**、**ナビゲーションコントロール**などを使ってビデオや VideoStudio プロジェクトをトリムすることができます。トリミングでビデオの長さを自由に、そして正確に調整することができます。

ヒント： DVD/DVD-VR ディスクのビデオも追加できます。

チャプタの追加 / 編集

この機能は [メニューを作成] オプションが選択されている場合のみ有効です。チャプタを追加することによって、関連付けられたビデオクリップにリンクするサブメニューを作成することができます。



各チャプタは、サブメニューでビデオサムネイルとして表示され、ビデオクリップのブックマークの役割を果たします。鑑賞者がチャプタをクリックすると、ビデオは選択したチャプタから再生されます。

メモ：

- 1つのビデオクリップに最大 99 のチャプタを含むことができます。
- [メニューを作成] のオプションが選択されていない場合は、[次へ] をクリックすると、メニューを作成せずに直接プレビューステップへ進みます。
- 1つの VideoStudio プロジェクトや 1つのビデオクリップでディスクを作成する場合で、メニューを作成する場合は、[イントロビデオを再生してからメニューを表示する] を選択しないでください。

ビデオクリップにリンクされたチャプタを作成または編集するには：

1. メディアクリップリストでビデオを選択します。
2. [チャプタを追加 / 編集] をクリックします。

3. ジョグスライダーをチャプタとして設定したいシーンに移動させ、**[チャプタを追加]** をクリックします。または、**[自動的にチャプタを追加]** をクリックして VideoStudio に自動的にチャプタを選択させることもできます。

ヒント：

- **[自動的にチャプタを追加]** を使う場合、ビデオは最低 1 分間以上であるか、またはシーン変更の情報が含まれている必要があります。
- **[自動的にチャプタを追加]** をクリックし、ビデオが DV カメラからキャプチャされた DV 形式の AVI ファイルである場合は、Ulead VideoStudio は自動的にシーンの変化を検出し、これに基づきチャプタを追加します。
- 選択されたビデオがシーン情報を含む MPEG-2 ファイルの場合、**[自動的にチャプタを追加]** をクリックすると、Ulead VideoStudio はこれに基づきチャプタを作成します。

4. ステップ 3 を繰り返して、他のチャプタポイントを挿入してください。また、**[チャプタを削除]** または **[すべてのチャプタを除去]** を使って不要なチャプタを削除してください。
5. **[OK]** をクリックしてください。

選択メニューの作成

このステップでは、メインメニューとサブメニューを作成することができます。これらのメニューは、鑑賞者がインタラクティブなスクリーンで見たいビデオを選択できるようにします。Ulead VideoStudio には、メニューやサブメニューを作成するためのテンプレートセットが用意されています。



この例では、クリップ 1 に 3 つのチャプタが含まれており、クリップ 1 のビデオサムネイルをクリックすると、サブメニュー #1 にジャンプします。クリップ 2 を見ると、チャプタが割り当てられていないことが分かります。したがって、クリップ 2 をクリックすると、ビデオは最初から再生されます。

メニューを編集するには：

1. 既定では Ulead VideoStudio は必要なすべてのメニューを自動的に作成するよう設定されています。[現在表示されているメニュー] を使って、編集したいメニューに切り換えてください。
2. [ギャラリー] タブで [メニューテンプレート] カテゴリをクリックし、カテゴリを選択します。適用したいテンプレートをクリックします。



3. [マイタイトル] をクリックして、メニューの見出しを編集します。各ビデオサムネイル下のテキストをクリックすると、説明を編集することができます。

メモ：「マイタイトル」とサムネイルの説明を変更しなかったり、あるいはステップ 2 を省略したりすると、最終作品にメニューの見出しとサムネイルテキストが表示されません。

4. [編集] タブでは、背景画、GBM またはオーディオを追加したり、フォントを変更したりして、ムービーをさらにカスタマイズすることができます。

ヒント：

- 選択したメニューテンプレートにモーションの属性を付けるには、**【モーションメニュー】** を選択してください。
- **【レイアウトの設定】** をクリックすると、メニューの全ページにレイアウトを適用するか、ページをリセットするか、あるいはメニューの全ページをリセットするかを指定することができます。
- **チャプタリスト**にタイトルメニューを追加するか、チャプタメニューを作成するか、あるいはサムネイル番号を表示するかを指定するには、**【詳細設定】** をクリックします。
- **【カスタマイズ】** をクリックしてパン&ズーム、モーションフィルタ、メニューイン/アウト効果を適用します。

5. 設定が完了したら、**プレビューステップに進みムービーをプレビューしてください。**

プレビュー

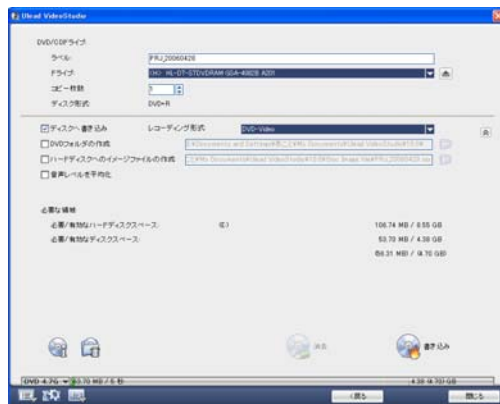
ムービーをディスクに書き込む前に、作成したムービーがどのように見えるかをプレビューしてみましょう。**【再生】** をクリックするだけでムービーをプレビューしたり、コンピュータでメニュー選択をテストすることができます。ここでは家庭用 DVD プレーヤーのリモコンを使うようにしてナビゲーションコントロールを使います。



ヒント： 次のコントロールへ移動すると、ツールヒントが表示され、それぞれの機能が説明されます。

プロジェクトをディスクに書き込む

これはディスク作成の最終ステップです。ムービーをディスクに書き込んだり、DVD ムービーをコンピュータで再生できるようにハードディスクドライブに DVD フォルダを作成したり、ムービーのディスクイメージファイルを作成してハードディスクに保存したりすることができます。



ヒント：他のディスクフォーマットについての詳細は、付録 C：技術概要－DVD、VCD、SVCD をご参照ください。

ムービーをディスクに書き込む：

1. プロジェクトをプレビューした後、**[次へ]** をクリックします。
2. **[他の出力オプションを表示]** をクリックして他の出力オプションを表示します。
 - **[DVD フォルダを作成]** を選択してプロジェクトを保存しておくフォルダを作成します。
 - **[ディスクイメージファイルの作成]** を選択して、将来再び使用できるように DVD の ISO イメージファイルを作成します。
 - **[音声レベルを平均化]** を選択して、再生中に一貫してオーディオレベルが一定になるようにします。
3. **[書き込みオプション]** をクリックして、書き込み装置および出力のその他の設定を行います。
4. **[書き込み]** をクリックすると、書き込みが開始されます。

5. ディスクの書き込みが完了したら、次のステップを選択するためのダイアログボックスが開きます。

- **閉じる** 作業内容を保存し、Ulead VideoStudio を終了します。

書き込みオプション

- **ディスク書き込み装置** 書き込み装置の設定を行います。
- **ラベル** CD/DVD のボリューム名を 32 文字以内で入力してください。
- **ドライブ** ビデオファイルを書き込むための装置を選択します。
- **作成枚数** 作成するディスクの数を設定します。
- **ディスク形式** 現在のプロジェクトの出力ディスク形式を表示します。
- **ディスクへ書き込み** ビデオプロジェクトをディスクに書き込みます。
- **レコーディング形式** DVD 標準規格を使用するために DVD-Video 形式を選択します。ファイルをハードディスクにコピーせずに、すばやくディスクを再編集するには、DVD-Video（高速再編集可）を選択してください。DVD-Video は業界規格に準拠しており、またセットトップ ホーム DVD プレーヤーやコンピュータ DVD-ROM とも高い互換性を持っています。DVD+VR に対応している DVD プレーヤーを使用する予定であれば、このフォーマットを選択してください。
- **DVD フォルダを作成** このオプションは DVD-Video を作成する場合にのみ選択できます。作成されたファイルは、ビデオファイルを DVD に書き込むための準備に使用されます。これは DVD-Video プレーヤーソフトを使用するコンピュータで完成した DVD ファイルを見るときにも使用されます。
- **ハードディスクへのイメージファイルの作成** ビデオファイルを何度も書き込む予定であれば、このオプションを選択してください。このオプションを選択すると、同じビデオファイルを書き込む際、再びファイルを作成する必要がありません。
- **音声レベルを平均化** 再生中に一貫してオーディオレベルが一定になるようにします。ビデオクリップはそれぞれ作成時のオーディオ録音レベルが異なります。このようなビデオクリップをまとめたときに、音量が統一されない状態になります。クリップ同士の音量を統一するには、**音声レベルを平均化**機能を使ってオーディオレベルを分析し、プロジェクト全体の波形を調整することによりビデオのオーディオレベルを一貫して均等化することができます。
- **消去** リライタブルディスクのデータをすべて消去します。
- **書き込みオプション** プロジェクトを書き込むための詳しい出力設定を行います。

- **テンポラリファイルを削除** 不要なファイルを作業フォルダから削除します。
- **書き込み** 書き込みを開始します。
- **必要な領域** プロジェクトを書き込むときに、次のインジケータを参考にします。これらのインジケータは、プロジェクトをディスクに書き込むのに十分なスペースがあるときに活用することができます。
必要 / 有効なハードディスクスペース プロジェクトの作業フォルダが必要とする容量と、ハードディスクで使用可能な容量を表示します。
必要 / 有効なディスクスペース ビデオファイルをディスクに収めるのに必要な容量と、使用可能な容量を表示します。

メモ :

- プロジェクトを 4.7GB DVD ディスクに書き込む場合は、プロジェクトが 4.37GB を超えないように注意してください。
- 2 時間近くのビデオを DVD に書き込む場合は、次のような方法でプロジェクトサイズを最適化しよう努めてください。ビデオデータレートが 4000 kbps を超えないようにする、MPEG オーディオを使用する、あるいはモーションメニューの代わりに静止画メニューを使用する。

プロジェクトを再生

[プロジェクト再生] は、プロジェクト全体または一部を DV カメラに出力するために使用します。またこの機能を使って、PC または TV モニタのいずれかの画面全体に、ムービーを実物大でプレビューすることができます。DV AVI テンプレートを使ったプロジェクトは、DV カメラにしか出力することができません。

ビデオがどのように再生されるかは、[環境設定] で選択した [再生方式] オプションによって異なります。

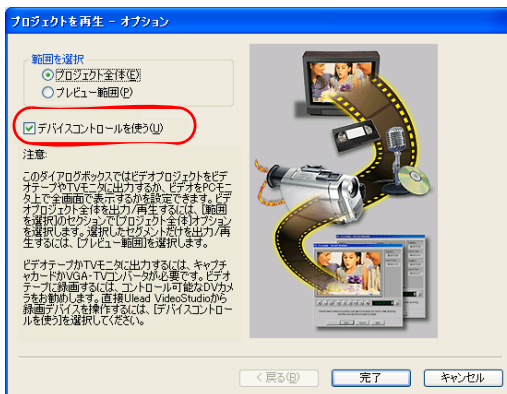
プロジェクトを実物大で再生する :

1. オプションパネルで [プロジェクトを再生] をクリックします。
2. [プロジェクトを再生-オプション] のダイアログボックスで、[完了] をクリックします。再生を停止するには、[Esc] キーを押します。

メモ : プロジェクトのプレビュー範囲だけをモニタに出力したい場合は、[プレビュー範囲] を選択してください。

プロジェクトを DV カメラに記録するには：

1. DV カメラの電源を入れ、再生 (VTR/VCR) モードに設定してください。
2. オプションパネルで [プロジェクトを再生] をクリックします。
3. [プロジェクトを再生-オプション] のダイアログボックスで、[デバイスコントロールを使う] を選択し、[次へ] をクリックします。



メモ： プロジェクトのプレビュー範囲だけを DV カメラにしたい場合は、[プレビュー範囲] を選択してください。

4. [プロジェクトを再生-デバイスコントロール] のダイアログボックスで、ナビゲーションパネルを使ってプロジェクトの録画を開始したいセクションに進みます。




ヒント：[デバイスに転送してプレビュー] をクリックすると、プロジェクトを DV カメラの LCD モニタでプレビューすることができます。

5. [録画] をクリックします。記録が終了したら、[完了] をクリックします。

ムービーの出力

VideoStudio では、作成したムービーをエクスポートしたり、共有したりするための様々な方法を提供しています。ここではその方法をご紹介します。

ビデオファイルを別のメディアに出力


[ビデオファイルを別のメディアに出力]  はプロジェクトの最終ビデオファイルを作成した後か、ライブラリに保存されているビデオファイルを選択した場合にのみ実行することができます。プロジェクトファイルをエクスポートすることはできません。

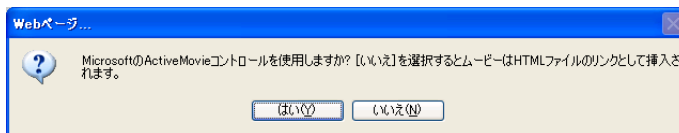
ビデオを Web ページに掲載する

インターネットは作成したムービーを共有するための手段でもあります。ただし、それには考慮すべきいくつかの問題点があります。3分程度の短いビデオでも60MB以上のディスクスペースを必要とし、ダウンロードに何時間もかかってしまうことがあります。ただし、適度なファイルサイズであれば、インターネットからムービーをダウンロードすることが可能です。インターネットに置くためのビデオを作成するには、品質を維持しながらファイルサイズを小さくするために、正しいビデオフォーマットと圧縮方式を使用する必要があります。

インターネットでの公開に適したムービーができあがったら、VideoStudioがHTML文書の作成をサポートします。

ビデオを Web ページにエクスポートするには：

1. ライブラリからビデオクリップを選択してください。
2. [ビデオファイルを別のメディアに出力]  をクリックし、[Web ページ] を選択します。
3. Microsoft ActiveMovie コントロールを使用するかどうかを質問するメッセージが表示されます。



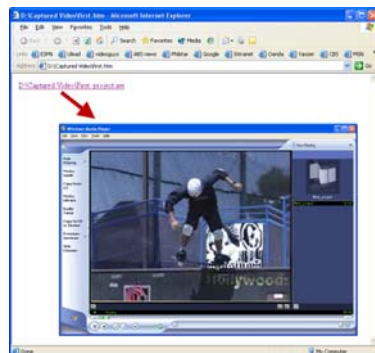
ActiveMovie は、見る側がインストールする必要がある、インターネットブラウザ (IE 4.0 以上) のための小さなプラグインです。[いいえ] を選択すると、ページにはムービーへの簡単なリンクが作成されます。

4. 名前を入力し、新規 HTML ファイルの場所を選択してください。
5. [OK] をクリックしてください。

既定のブラウザが開き、ページが表示されます。このページを Web サーバーにアップロードする際は、ムービーに関連付けられたリンクのコードを変更する必要があります。



Activemovie コントロールがある場合



Activemovie コントロールがない場合

ムービーを E メールで送信

[E メール] を選択すると、VideoStudio は自動的に既定の E メールクライアントを立ち上げ、選択されたビデオクリップを新しいメッセージの添付ファイルとして挿入します。フィールドに必要な情報を入力し、[送信] をクリックします。

E メールプログラムが既定の E メールクライアントとして設定されていない場合、以下の要領で E メールプログラムを設定してください。Netscape Mail や Eudora などの MAPI 準拠プログラムでは、MAPI (Messaging Application Programming Interface) オプションを有効にする必要があります。

Microsoft Outlook Express を既定の E メールプログラムとして設定するには：

1. Outlook Express では、[ツール] - [オプション] を選択します。
2. [オプション] のダイアログボックスで [全般] タブをクリックしてください。
3. [既定のメッセージプログラム] の [このアプリケーションは既定のメールプログラムではありません] というオプションの後に、[既定として設定] ボタンをクリックしてください。
4. [適用] をクリックしてください。

Netscape Mail で MAPI を有効にするには :

1. Netscape Mail では、**[編集] - [環境設定]** を選択します。
2. カテゴリリストで **[メールとニュースグループ]** を選択します。
3. **[MAPI ベースのアプリケーションから Netscape Messenger を使う]** を選択します。
4. **[OK]** をクリックしてください。

Eudora で MAPI を有効にするには :

1. Eudora では、**[ツール] - [オプション]** を選択します。
2. **[カテゴリ]** リストで **[MAPI]** を選択します。
3. **[Eudora MAPI サーバーを使う]** で **[常に使用]** を選択してください。


電子グリーティングカード

マルチメディアグリーティングカードを作成し、友人や家族とビデオを共有しましょう。VideoStudio ではムービーを実行可能ファイル (*.exe) に変換し、自動的にビデオを再生するよう設定することができます。さらに、自由な背景を選択してビデオを表示することも可能です。

グリーティングカードを作成するには :

1. **ライブラリ**からビデオクリップを選択してください。

メモ : DV AVI ファイルをグリーティングカードとしてエクスポートすることはできません。

2. **[ビデオファイルを別のメディアに出力]**  をクリックし、**[グリーティングカード]** を選択します。
3. **[マルチメディアグリーティングカード]** のボックスにダイアログボックスにビデオが表示されます。**[背景テンプレート]** からイメージをダブルクリックして選択してください。




- サムネイルをドラッグし、位置を調整します。または、XとY軸に値を入力してください。サムネイルの枠となっている黒いコントロールを使ってイメージをリサイズしたり、または、直接幅と高さの数値を入力してサイズを指定することもできます。
- [**グリーティングカードのファイル名**] のボックスに直接ファイル名を入力してください。
- [**OK**] をクリックするとカードが作成されます。

VideoStudio で提供されている背景テンプレートは JPG イメージファイルです。グラフィックエディタでオリジナルのイメージを作成したり、ムービーから静止画像をキャプチャして使うこともできます。このためには、[**背景テンプレートのファイル名**] の横の [**参照**] をクリックしてイメージを検索してください。

ビデオをスクリーンセーバーとして設定する

ユーザー自身で作成したビデオファイルをスクリーンセーバーとして利用すると、デスクトップコンピュータをよりパーソナライズすることができます。

ビデオをスクリーンセーバーとして設定するには：

- ライブラリから WMV ファイルを選択します。
- [**ビデオファイルを別のメディアに出力**]  をクリックし、[**ムービースクリーンセーバー**] を選択します。[**ディスプレイのプロパティ**] のダイアログボックスに、ビデオファイルがスクリーンセーバーとして表示されます。
- [**OK**] をクリックすると、調整内容が適用されます。

オーディオファイルの作成

ビデオプロジェクトに含まれるオーディオトラックを別のファイルに保存しておきたい場合があります。例えば、異なるイメージで同じサウンドを使用したり、キャプチャされたオーディオをサウンドファイルに変換したい場合などに便利です。VideoStudio では、プロジェクトのオーディオファイルを簡単に MPA、RM、WAV 形式に作成します。

オーディオファイルの作成：

- プロジェクトを開き、[**完了ステップ**] をクリックします。

メモ： 既存のビデオファイルをライブラリから選択すると、そこからサウンドファイルを作成することもできます。

2. **[サウンドファイルを作成]** をクリックします。
3. **[ファイルの種類]** のリストから希望のオーディオ形式を選択し、**[オプション]** を選択して **[オーディオ保存オプション]** のダイアログボックスを開きます。
4. オーディオの属性を細かく調整し、**[OK]** をクリックします。
5. ファイル名を入力し、**[保存]** をクリックします。

DV カメラへの録画

プロジェクトを編集し、ビデオファイルを作成したら、ビデオを DV カメラに録画することができます。DV カメラには DV AVI フォーマットのビデオしか録画することができません。

ムービーを DV カメラに録画するには：

1. ビデオカメラの電源を入れ、**[再生]** モード（または **[VTR/VCR]** モード）に設定してください。詳しくは、ビデオカメラの取り扱い説明書をご覧ください。
2. **[完了ステップ]** をクリックしてください。
3. **ライブラリ** から対応の DV AVI ファイルを選択します。
4. **[DV 録画]** をクリックします。
5. **[DV 録画—プレビューウィンドウ]** のダイアログボックスが開きます。ここでビデオファイルをプレビューします。プレビューが終了したら、**[次へ]** をクリックします。
6. **[プロジェクトを再生—録画ウィンドウ]** のダイアログボックスで、**ナビゲーションパネル** を使って録画を開始したいセクションに進みます。

ヒント： **[デバイスに転送してプレビュー]** をクリックすると、プロジェクトを DV カメラの LCD モニタでプレビューすることができます。

7. **[録画]** をクリックします。プロジェクトを DV カメラに録画したら、**[完了]** をクリックします。

メモ： ビデオファイルを DV カメラに録画する前に、ビデオが正しいコーデックで保存されているかどうかを確認してください。例えば、コーデック **DV ビデオエンコーダ** は通常、ほとんどの NTSC DV カメラに適用されます。**[ビデオ保存オプション]** のダイアログボックスの、**[圧縮]** タブから選択することができます。

索引

Numerics

1 個のテキスト 33

A

ActiveMovie 60

D

DV 12

DV AVI タイプ -1 とタイプ -2 12

DVD/DVD-VR 12

DV テープをスキャン 12

V

VideoStudio10 5, 7

 ツールバー 8

 プロジェクトタイムライン 8

 ユーザーインターフェース 8

VideoStudio10 で編集 7

あ

アスペクト比を維持 30

アニメーション効果 37

い

位置調整 30

 オーバーレイクリップ 30

イメージ 14

え

エクスポート 59

 DV 録画 64

 E メール 61

 Web ページ 60

 グリーティングカード 62

 スクリーンセーバー 63

エフェクトステップ 25

お

オーディオステップ 38

オーディオチャネルの複製 43

オーディオトラックのミキシング 42

オーディオの長さを引き伸ばす 41

オーディオビュー 9

オーディオファイルの作成 63

オーディオフィルタ 44

オーバーレイクリップをリサイズ 30

オーバーレイステップ 27

オブジェクトや 31

おまかせモード 5

音楽 CD からのインポート 39

か

開始画面 5

書き込む 48

カスタマイズ 32

 オブジェクト 32

 フレーム 32

カラークリップ 14

完了ステップ 45

き

キーフレーム 22

キャプチャ 11

 アナログビデオ 12

 デジタルビデオ (DV) 12

キャプチャステップ 11

境界線 29

 オーバーレイクリップ 29

く

クリップのボリュームコントロール 42

クロマキー 29

さ

- 作成 45
 - ビデオファイル 46
 - ビデオ - プレビュー範囲 47
 - ビデオ - プロジェクト全体 46
 - ムービーテンプレート 45

し

- シーンで分割 12, 18
- 自動トリム 41

す

- スクリーンセーバー 63
- ストーリーボードビュー 9
- スマートパン & ズーム 6

た

- ダイアログボックス 19
 - スキャンの感度 19
 - パン & ズーム 23
 - フィルタをカスタマイズ 22
 - オーディオフィルタ 44
- タイトルステップ 33
- タイトルセーフエリア 34
- タイムラインビュー 9

ち

- チャプタポイント バー 17

つ

- 追加 10
 - BGM 39
 - オーディオファイル 40
 - オーディオフィルタ 44
 - オーバーレイトラックにクリップを追加 27
 - オブジェクト 31
 - 音楽 CD からのミュージック 39
 - サードパーティのミュージック 39

単一のタイトル 34

- チャプタ 17
- テキスト 33
- ナレーション 38
- ビデオトラックにクリップを追加 14
- 複数のタイトル 33
 - フラッシュアニメーション 32
 - プリセットテキスト 35
 - フレーム 31
 - プロジェクトにクリップを追加 10
- 積み重ねたタイトルの順番を並べ替える 36

て

- ディスクを作成 7
 - 選択メニューの作成 52
 - チャプタの追加 / 編集 51
 - ディスクへの書き込み 55
 - プレビュー 54
- テキストアニメーション 37
- テキストの属性を変更する 36
- 適用 21
 - テキストアニメーション 36
 - ビデオフィルタ 21

と

- 透明度 28
 - オーバーレイクリップ 28
- トランジション 25
- トリミング 15
 - オーディオクリップ 40
 - トリムバー 15
 - トリムハンドル 16
- トリムハンドル 16

は

- バックドロップテキスト 36
- バッチ変換 17
- パン & ズーム 23

ひ

- ビデオクリップ 14
- ビデオトラック 14
- ビデオの複数カット 19
- ビデオファイルを作成 7
- ビデオフィルタ 21
 - オーバーレイクリップに適用 31
 - キーフレーム 22

- 環境設定 9
- 再生速度 18
- 追加
 - トランジション 25
- 複数のファイルを変換する 17

ふ

- フィルタをカスタマイズ 21
- 複数のテキスト 33
- フラッシュアニメーション 32
- プレビュー 10
- プロジェクトのプロパティ 10
- プロジェクトを再生 57

へ

- 編集 14
 - チャプタ (ディスクを作成) 51
 - テキスト 35
 - 編集ステップ 14

ほ

- 保存 10
 - トリムしたクリップ 16
 - ビデオファイル 46
- ボリューム調整 43

ま

- マスク & クロマキー 28

も

- モーション 28

り

- リップル編集 16